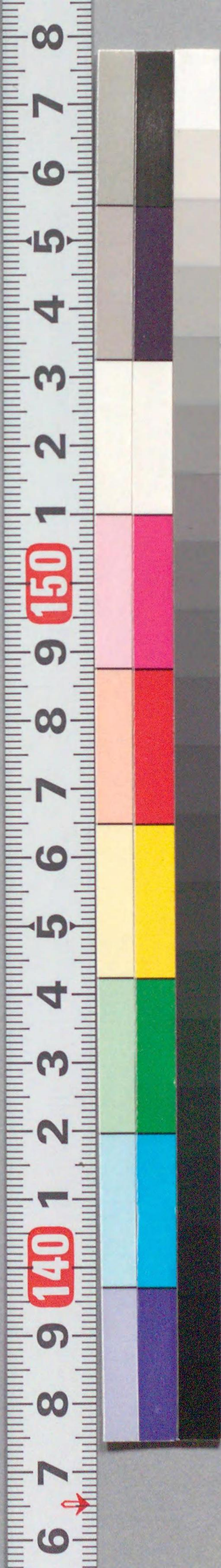
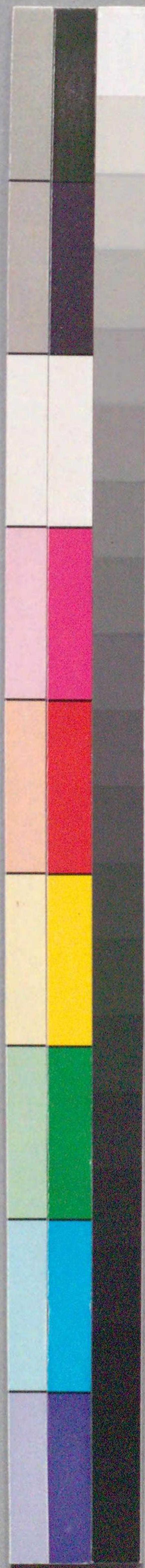


国立国会図書館 六三之文車 3編6巻 208-138



ガラス使用



208
文
138



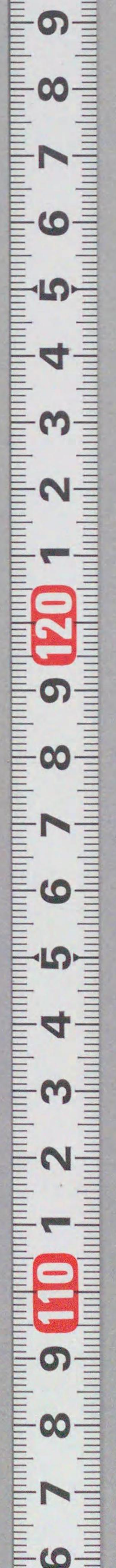
六

めでも度六三之文車

六冊合巻
甘泉堂梓

この書は、この書は、新版十年も盡ぬ合巻の作者の趣向、趣向、夏相似
 の例の六三之文車廻る因果と引れる縁との日も、日も、あまの通風の
 科を仇するところ、科を仇するところ、書固に封皮八重垣の内、書固に封皮八重垣の内、小指と大指、小指と大指、如才
 多毛の筆、多毛の筆、花招くとも、花招くとも、穂小出、穂小出、戸栗が伎倆、戸栗が伎倆、後竟、後竟、なる知、なる知、まわか
 みて契、みて契、深見硯の海、深見硯の海、誰水さして疑ひの解、誰水さして疑ひの解、雪の女、雪の女、夫松末、夫松末、いさうして、いさうして、考、考、子
 供、子供、主官、主官、煙、煙、まがら、まがら、難波長者の子、難波長者の子、室ハ玉、室ハ玉、欲、欲、あぶの鶏、あぶの鶏、鳴、鳴、く、く、東、東、小、小、名
 ころ、ころ、傾城の、傾城の、実情ハ、実情ハ、晦の、晦の、星月、星月、夜鎌倉、夜鎌倉、官領の時、官領の時、小當て、小當て、は、は、國の、國の、世話、世話、郷談、郷談、小
 亦勸、亦勸、微の、微の、枝、枝、ま、ま、せて、せて、實、實、小、小、る、る、花の、花の、桜、桜、木、木、小、小、菊、菊、た、た、く、く、序、序、ま、ま、ると、ると、の、の、ふ

文政四年辛巳春正月吉日發販曲亭馬琴戲墨





浪人
北山嵯峨二郎

あまの菊に
こぼろさそを
秋の雲
羅文

富屋の側室玉梓

浪の花
信天翁
孺子唄六三郎



紅の
箱よ
別長あり
富屋の
正妻
陽良







福科屋の
女房阿文

暫齋

生か
べかり

世の
草

底
よ

戸栗
節内

富屋
番



糞土勿
賤五穀
生自此
珠玉勿
貴難充
一日餓
澄濁る
人の
の

福科屋
靖兵衛

鎌倉増領の
雑字
戸栗
突平太





6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



Handwritten text in Japanese, likely a narrative or commentary related to the illustration. The text is written in a cursive style and covers the lower portion of the page.



Handwritten text in Japanese, likely a narrative or commentary related to the illustration. The text is written in a cursive style and covers the lower portion of the page. There are also some small annotations and labels like '下' and '目'.













四

上は...
 中は...
 下は...

上は...
 中は...
 下は...

上は...
 中は...
 下は...

馬琴作













ついでに平太のまごの仔の...
そのまごの仔は...
さるまごの仔は...
わがまごの仔は...
ゆきまごの仔は...
そのまごの仔は...
あまごの仔は...
そのまごの仔は...
あまごの仔は...
そのまごの仔は...
あまごの仔は...



まごの仔のまごの仔は...
そのまごの仔は...
さるまごの仔は...
わがまごの仔は...
ゆきまごの仔は...
そのまごの仔は...
あまごの仔は...
そのまごの仔は...
あまごの仔は...
そのまごの仔は...
あまごの仔は...





サア... 月... 草... 山...

その... 六... 平...



まの... 日... 月... 草...

六... 平... 草... 山...

六... 平... 草... 山...





6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9

208
138

6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9



国立国会図書館 六三之文車 3編6卷 208-138



ガラス使用